

委員長報告

一般会計

総務産業・社会文教常任委員会では、付託された令和6年度一般会計予算案について、慎重に審査し、その結果を委員長が本会議で報告した。

総務産業常任委員会

災害用マンホール トイレ整備

委員長 大日向進也

歳入

問 地方交付税が増加した要因は。

答 国の予算総額が前年度比1・7%増額したことで、普通交付税の算定に関して、基準財政需要額の算定費目に子ども子育て費が創設されることにより増額を見込んでいます。

歳出

総務課

問 庁舎等改修工事の内容は。

答 町道拡幅に合わせ、役場前庭駐車場を整備するとともに、庁舎の高圧受電設備の老朽化による改修工事を予定している。

企画政策課

問 入札参加資格申請受付審査システムの内容と負担額は。

答 現在、自治体ごとに書面で行っている入札参加資格の受付審査を、県が開発したシステムを利用し、電子申請により受付審査を一本化することで事務の効率化と利便性の向上を図るものである。6年度は、参加34市町村が初期導入費用を負担し、坂城町は175万円の負担である。

問 まちづくり推進事業におけるシステム等導入委託とは。

答 書かない窓口、公共施設予約管理、観光資源・文化財デジタル化の3事

業に係るシステム導入経費であり、国のデジタル田園都市国家構想の交付金事業として現在申請している。

問 防災行政無線の非常電源は。

答 停電など、電力が途絶えた場合、戸別受信機については付属の乾電池から対応される。屋外スピーカーについては、自動的に内蔵された非常用バッテリーに切り替わり、72時間の運用が可能である。

商工農林課

問 松くい虫防除対策事業の予算額が例年より増加している理由は。

答 6年度は、例年実施している松くい虫防除対策に加え、昨年4月に発生した林野火災の延焼範囲内において、焼損したアカマツに多数の害虫が集まる状況が確認されていることから、周辺への松くい虫被害を拡大させ

ないために被害木の伐倒駆除を行う費用を計上している。

問 今後の農業施策をどのように進めていくのか。

答 農業者の高齢化、減少という課題に直面していることから、新たな担い手の確保を進めるとともに、農地の集約化など効率の良い生産を行える体制を整えていきたい。また、スマート農業については、町内の営農状況を考慮して推進していきたい。

建設課

問 道路新設改良一般事業について、A06号線(村上工区)整備の今後の計画は。

答 A06号線の施工については、5年度予算を繰越し、舗装工事を行い、6年度予算で終点までの区間に擁壁工事を実施する予定である。その後、国道バイパスに取り付ける交差点については、国と協議を行っていく。



今年度から電動アシスト付き自転車10台を導入予定

問 水道事業広域化について、今後の予定は。

答 水道事業広域化研究会にて、3年度から現在まで検討してきている。6年度の早期に、設立を予定している上田長野地域水道事業広域化協議会にて事業統合を含めた、より詳細な検討を行う予定である。町としては、災害時にも対応できるように送水管を千曲川右岸にも整備する二重化について要望している。

問 災害用マンホールトイレの小中学校への設置が終わるのはいつか。また、貯留型の選定理由は。

答 6年度の村上小学校から1年に1校ずつ施工し、9年度で完了予定である。貯留型マンホールトイレは、事前に貯水できるといった初動対応の優位さや維持管理の頻度、また、下水管路災害時には、ある程度貯留できるといった機能面を考慮し選定した。

社会文教常任委員会

村上義清公

没後450年記念事業

委員長 玉川清史

住民環境課

問 6年度のコンビニ交付の見込件数は。

答 年間約3千件、総発行件数のうち25%程度を見込んでいる。戸籍証明書、住民票、印鑑証明書、税務の所得証明書が発行できる。

問 町における地域猫活動状況は。

答 ボランティア団体である「ふくねこさかき」が、各地区の区長に協力を得て活動している。効果が大きく表れるまでには長期間の取り組みが必要だが、その途上である現段階においても効果が見えてきている。

問 今後の消防ポンプ操法大会開催の考えは。

答 坂城町・千曲市それぞれで大会を行い、上位大会への出場者を選出する現在の方式ではなく、埴科大会に一本化し、出場についても、分団ごとの要望に應える方向で、埴科消防協会で検討中である。ラッパ分団については、坂城町と千曲市が1年交代で県大会に出場する方式を検討している。

福祉健康課

問 成年後見支援センターの相談件数と周知は。

答 成年後見事業は町社会福祉協議会に委託している。1月末現在の相談件数は33件であり、町広報や社協だよりで周知

している。6年度からは、権利擁護が必要な人への住民サービス向上のため、普及啓発、市民後見人養成等に係る上田地域での取り組みに参加する予定であり、事業の一部を上田市社会福祉協議会へ委託する予定である。

問 寝具洗濯等サービス、訪問理美容サービスの対象者は。

答 要介護3～5の高齢者または重度障がい者で、利用を希望する登録者を対象としている。訪問理美容サービスは利用者の負担軽減を図るため、年間4枚交付する利用券の補助額を増額する。

問 不妊・不育治療費助成の状況は。

答 4年度は不妊治療費を13人に助成し、7人が妊娠された。5年度は現在のところ5人に助成し、うち3人が妊娠されている。

教育文化課

問 全国学力・学習状況調査の結果は。また、調査結果を踏まえた今後の方針は。

答 全体としては、全国・県の平均と比較して大きな差はない。数学では発展的な内容で弱い部分が見受けられる。学校では、この調査結果も踏まえ、引き続き、個別最適な学習と、グループで話し合う協同的学習の両立により、発展的な内容について互いに意見を出し合い、学びを深められるよう授業改善に取り組んでいる。

問 6年度の分館施設整備補助事業の予定は。

答 町横尾のエアコン設置工事、込山の空調・床修繕工事、北日名のトイレ・エアコン設置工事、新町のエアコン・給湯器設置工事、網掛の駐車場修繕工事に対し補助する予定である。

問 村上義清没後450年記念事業の内容は。

答 9月にふれあい大学習として砥石城親子トレッキングや10月の町文化祭にあわせ、信濃村上氏フォーラムとして講演会及びパネルディスカッションを計画している。また、信濃村上氏フォーラムの記念誌を発行する予定である。



村上十八将図
(坂本宿ふるさと歴史館所蔵)